

めんえき

「心の免疫」を育てよう

考えてみよう！「たばこ、酒」のこと



ワーク1

パッケージや広告のイメージについて、考えよう

観察する広告例のA～Dに
○印をつけてください。



1

売っている側の立場になって広告のイメージやテクニックを考えてみよう

- 登場人物・キャラクター・風景
- キャッチフレーズ

2

健康の保持増進の視点から反論してみよう

3

広告を見て注意しなければならないことをまとめてみよう

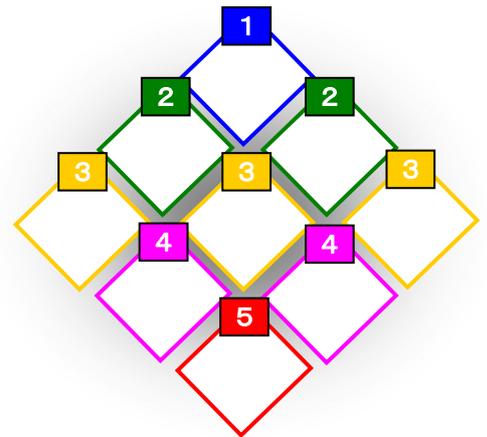
ワーク2

たばこや酒の誘惑^{ゆうわく}に負けないためには、何が必要でしょうか？
それぞれに順位をつけてランキング表を作ってみましょう。

1 キーワードに順位をつけてみましょう（1位～5位）

 右の表にあてはめてみましょう

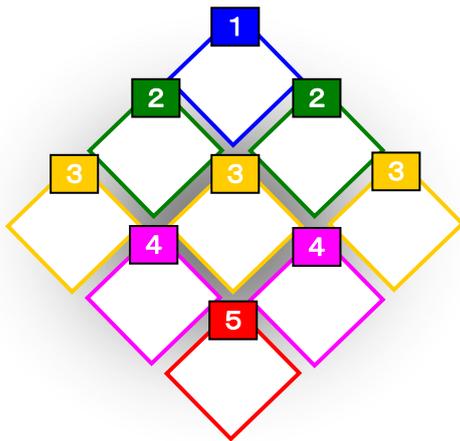
- | | |
|---------------------------------|---------------|
| ア 正しい知識を持つこと | カ 心のすきを見せないこと |
| イ 誇張 ^{こわちょう} した情報を見抜く力 | キ はっきりと断る勇氣 |
| ウ 自分を大切にする気持ち | ク 夢を持つこと |
| エ 自分の考えを貫く意志 | ケ 自分の可能性を信じるこ |
| オ 仲間に意見を言える勇氣 | |



2 グループで話し合ってみましょう

- 自分の選んだランク1位の理由を発表しよう
- 他の人の発表を聞いて、自分との違いを見つけよう
- 多数決ではなく、話し合いでグループの意見をまとめてみよう

3 グループのランキング表を完成させて発表しましょう



4 自分の意見をまとめてみましょう

- あなたが心がけることは？

- はじめに考えたことは
- 話し合いから感じたことは
- 今後心がけることは

ワーク3

未成年者の喫煙、飲酒、薬物乱用防止に向けて、標語を考えてみましょう

- 平成 20 年度喫煙・飲酒・薬物乱用防止啓発ポスター
中学生の部 最優秀 高校生部の部 最優秀



- 平成 20 年度喫煙・飲酒・薬物乱用防止啓発標語 最優秀

「身につけよう ことわる勇氣と 正しい知識」

川崎市立生田中学校
白記 彩花 さん

小田原市立泉中学校
小澤 祐哉さん

県立小田原城北工業高校
杉崎 マリナさん

アクセスしよう

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/hokentai/iku/yakubutu/yakubutu/html>

「こころの免疫」を育てよう！～考えてみよう！「たばこ・おさけ」のこと～

教材の活用について

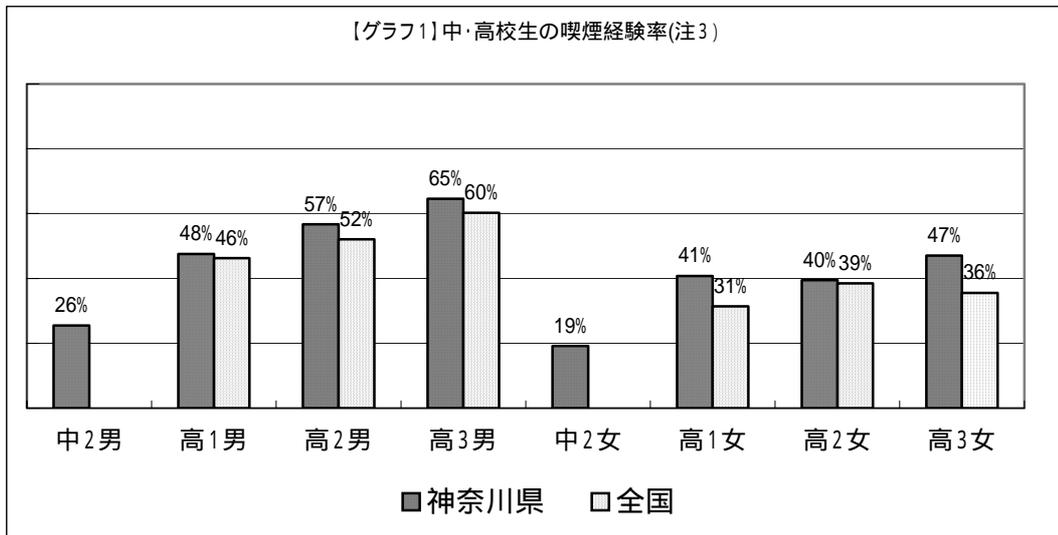
中学生、高校生用喫煙・飲酒防止教育教材として、『「こころの免疫」を育てよう！～考えてみよう！「たばこ・おさけ」のこと～』を作成しました。実践力育成のための指導展開例を2例用意しましたので、保健学習や学級活動、ホームルーム活動等でぜひ活用してみてください。



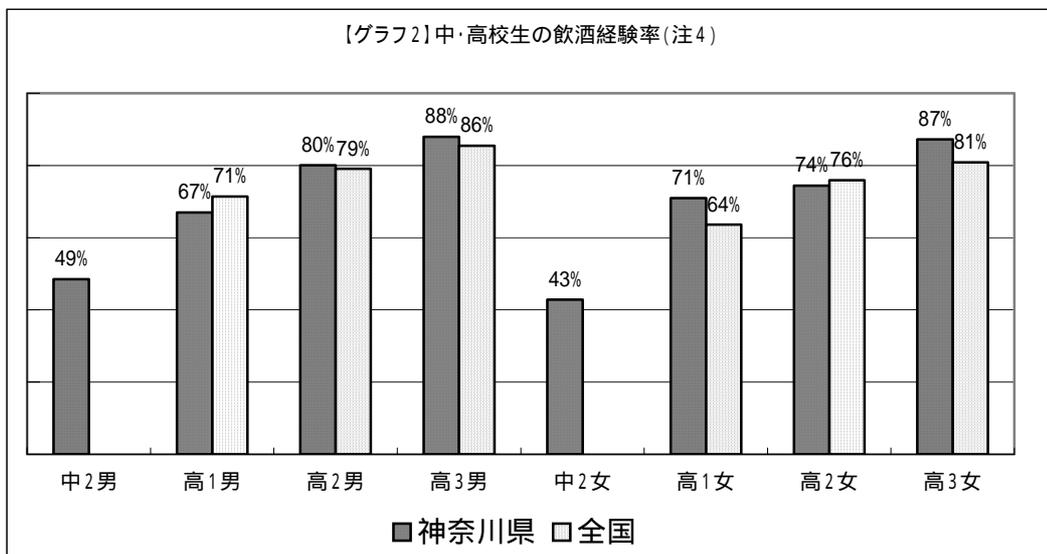
1 今、中・高校生の喫煙・飲酒防止教育が必要です

(1) 神奈川県では平成13年12月から平成14年2月にかけて、県内の小学5年生、中学2年生、高校1～3年生3,242人を対象に「喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する意識・実態調査」(注1)を行いました。次のグラフは、その調査結果の中の喫煙・飲酒経験率(%)について、県内公立中・高校生と、平成13年に行われた全国調査結果(注2)とを比較したものです。

(注1) 調査主体：喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育実践研究会
 (注2) 日本青少年健康危険行動全国調査



(注3) 中2男女は全国データなし



(注4) 冠婚葬祭を含む、中2男女は全国データなし

- (2) このグラフからもわかるように、県内の高校生については、喫煙ではすべての学年で、飲酒では高校1年生男子と高校2年生女子を除き全国平均より高くなっています。また中学2年生においても、特に、男子では4人に一人が喫煙を、2人に一人が飲酒を経験していることがわかります。
- (3) 現在は「第3次覚せい剤乱用期」と言われ、薬物乱用の低年齢化の傾向が進んでいます。が、薬物乱用経験者のほとんどが喫煙・飲酒を経験しており、喫煙と飲酒は「入門薬物」とも言われています。今、中・高校生の喫煙・飲酒防止は、健康教育の推進、薬物乱用防止の両面から、緊急かつ重要な課題であると言えます。

2

生徒の実践力を育てるために

- (1) 中・高校生が喫煙・飲酒を始めるきっかけは、両親など周囲の人の喫煙・飲酒行動や態度、友人などからの喫煙・飲酒の勧め、広告などの社会的要因等が影響を及ぼしていると言われています。そのため、中・高校生の喫煙・飲酒を効果的に防止するためには、単に有害性に関する知識を提供するだけではなく、「生徒自らが考え、正しい判断のもとに行動できるようにする実践力を育てる」ことが重要です。
- (2) そのためには、誘いに対して上手に断るなど、様々な状況に対応できる心理社会的能力(=こころの免疫)を育てていくことが必要です。

3

指導展開例

(ワーク1) ロールプレイング

【ねらい】

喫煙・飲酒への誘惑に負けない適切な「意志決定」と「行動選択」について、ロールプレイングを通して実践力を高める。

	学習活動	教師の支援
ステップ1	誘惑に対する適切な対処方法について考え、シナリオに自分のせりふを書き込む。	喫煙・飲酒を始めるきっかけとして、「誘い」が多いことに気付かせ、「ワーク1」に記入させる。
ステップ2	グループの代表者を選び、教師が誘う役をして、シナリオを見ながらロールプレイングを実施する。 次に、シナリオをみながらグループごとに、ロールプレイングを行う。	声の大きさ、断り方などを各自で工夫させる。
ステップ3	演技者は感想を述べ、観察者は評価をし、誘惑の対処方法として、何が大切か、グループで話し合い発表する。	友人などの誘いは、互いの意志の疎通や人間関係が影響しており、単なる知識だけでは、断ることが難しいことに気付かせる。 誘いを断るには、強い意志と断るためのスキルが必要であることに気付かせる。

(参考資料) 保健の教科書

「指導のヒント」

コミュニケーションの3つのタイプ(喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導参考資料より)

コミュニケーションのタイプ	タイプの特徴	言語的表現の例
受動的コミュニケーション	相手のいいなりになったり、必要な時にも自分の意見の表明を控えたりする。自分の権利が侵されていてもあきらめる。	「どっちでもいいけど・・・」 「えーっ・・・」 「でも・・・」 「そんな・・・」
攻撃的コミュニケーション	相手の権利を侵す、相手をけなす、無視するなどして、自分の要求を通そうとする。	「君も当然 するよね。」 「 しろよ。」 「うるさい。」
自己主張的コミュニケーション	相手を脅したりけなしたりすることなく、自分の意見を論理的、合理的に主張する。また、相手の意見を聞き、相手の権利を尊重する。	「私は だと思う」 「あなたは どう思う？」 「 してみるのはどう？」 「あなたの考えは なんだね。」

(ワーク2) ダイヤモンド・ランキング

【ねらい】

喫煙・飲酒についての自分の考えをはっきりさせ、それを仲間へ伝え、仲間とのやりとりを通して仲間の意見や見方に気付き、それを受け入れ、合意点を探すことなどの体験を通して思考力、発表力を高める。

	学習活動	教師の支援
ステップ1	<p>キーワードに順位をつけよう</p> <p>自分一人で、9つの内容のうち最も重要と思うものを一番上にして、全ての記号を入れていく。</p> <p>1と5 = 1番目と5番目(1つ) 2と4 = 2番目と4番目(2つ) 3 = 3番目 (3つ)</p>	<p>個人の考えや価値観によって重要度が違うため、正解があるわけではないことを説明し、自分の考えを優先させて順位付けをさせる。</p>
ステップ2	<p>グループで話し合ってみよう</p> <p>自分で選んだランク1位の理由を発表する。</p> <p>仲間の発表を聞き、自分との違いを見つける。</p> <p>グループの意見をまとめる。</p>	<p>必ず全員の理由を聞くこと、仲間の理由に対して批判しないことを確認する。</p> <p>全員が合意した内容から埋めさせる。意見がまとまらない内容については、空欄とさせる。その際、合意できなかった理由をはっきりさせる。</p>

<p>ステップ 3</p>	<p>グループのランキング表を完成させ発表しよう 自分のグループで話し合った結果を発表する。 時間があれば、他のグループの発表を聞いてどう思ったのかなど、全体で話し合う。</p>	<p>他のグループの発表に対して批判しないことを確認する。 他のグループの発表について気付いたことや感想を記録させる。</p>
<p>ステップ 4</p>	<p>自分の意見をまとめてみよう 4の欄に、感じたこと、考えたことを記入する。</p>	<p>取り組みを振り返らせながら、「ワーク2」 4に記入させる。</p>

【参考文献】

- ・ 「意志決定・行動選択の力を育てる高等学校保健学習のプラン」(平成13年度、高等学校のみ配付)(財)日本学校保健会
- ・ 「実践力を育てる中学校保健学習のプラン」(平成13年度、中学校のみ配付)(財)日本学校保健会
- ・ ストップ・ザ・薬物 ～自分をだいにしよう～ (財)日本学校保健会
- ・ 喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導参考資料：中学校編(平成16年度、文部科学省)
- ・ 喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導参考資料：高等学校編(平成16年度、文部科学省)
- ・ 喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育指導資料～心と体の健康のために～(平成16年3月 神奈川県教育委員会)
- ・ 「かけがえのない自分、かけがえのない健康」(平成18年3月、文部科学省)
- ・ 「健康な生活を送るために」(平成18年3月、文部科学省)